

1 学校の概要

令和2年度

・学校番号	512	・学校名	奈良市立二名中学校
・所在地	〒631-0072 奈良市二名1丁目3667番地の2 TEL 0742-43-9570 FAX 0742-48-4573 http://www.naracity.ed.jp/nimyou-j/ E-mail nimyou-j@naracity.ed.jp		
・校長	乾 浩章	・教頭	水上 雅裕
・教職員数	28人		
・創立年及び創立記念日	昭和51年10月8日		
・案内	近鉄学園前駅より奈良交通バス西登美ヶ丘5丁目下車徒歩10分 学園緑ヶ丘1丁目下車徒歩7分		

2 学校の沿革

本校は、室町時代の荘園制の名残をとどめる二名の地にあり、東経135度45分50秒、北緯34度43分、海拔110mで奈良市西部に位置する。通学区域は、青和小学校と二名小学校通学区域、登美ヶ丘小学校通学区域の一部である。

本校は、なだらかな裾を広げる生駒山の稜線、矢田丘陵の緑を見渡すことができ、四季おりおりの自然の変化を見せてくれる樹々に囲まれた自然いっぱいの環境の中にある。また、トレドの森と一体化した公民館、幼稚園や小学校と隣接しており本校周辺は二名の一大文化圏を成している。

昭和51年10月8日の開校以来、自由な校風「自主・創造」を二名中学校独自のモットーにしてきた。生徒・保護者の規範意識も変わりつつある今、「真の自由」を求めて質の高い授業や生徒会活動、清掃活動、部活動などに重点をおいて校風の再構築に取り組んでいる。

3 学級数・生徒数

学 年	学級数	生 徒 数		
		男	女	計
1	4	64	67	131
2	4	73	79	152
3	4	76	76	152
特別支援学級	3	8	3	11
計	15	221	225	446

4 教育方針

学校教育目標

人権尊重の精神に徹し、確かな学力を持つ、健康で創造的、たくましく、心豊かな人間の育成を図る。

また、生徒、保護者の願いを受け止め、地域に開かれ、地域に信頼される学校をめざし、校訓である「自主・創造・協力・友愛」を目標に実践する。

めざす学校像 一人一人が輝き、希望や夢があふれる学校

- ① みんなの心が響き合い、認め合える学校
- ② 笑顔と夢があふれる学校
- ③ 感謝の言葉があふれる学校

めざす生徒像

- ① 自ら考え、学び行動する生徒
- ② 思いやりや感謝する心を持つ生徒
- ③ 自他の命や体を大切にする生徒

めざす教師像

- ① 魅力ある授業が提供できる教員
- ② 魅力ある学級経営ができる教員
- ② 家庭・学校・地域の連携に努める教員
- ③ 組織の一員として認め合い協働する教員
- ④ 適切な言動により生徒の受容感を高める教員

指導の重点

- ① アクティブラーニングの視点からの授業改善・魅力ある授業づくり・ICT の活用
- ② 受容感を高める・自他の生命の尊重・自尊感情の育成
・進路学習の充実・道徳・人権教育・キャリア教育の充実
- ③ たくましい心身・部活動の充実・教育相談体制の充実・食育の推進

基盤となるもの

- ① 生徒指導・相談活動の充実
 - ・学年、学級集団の質の向上・いじめをなくす取り組みの具体化
 - ・QU を生かした学級経営
- ② 生徒会活動・委員会活動・学年委員会の活性化
 - ・あいさつ運動・清掃活動・ボランティア活動
 - ・企画力、創造力、実行力の育成

5 研究主題および研究概要

(1) 研究主題 「人権尊重の精神に徹し、確かな学力をもつ、健康的で創造的、たくましく、心豊かな人間の育成を図る」

(2) 研究年度 5年度

(3) 活動計画

- 4人班を学習・生活に取り入れ、少人数編成の班の交流や活動を活かすことで生徒一人一人の活動を質・量ともに向上させていく。
- 生徒が意欲を持ち、学習活動に取り組む授業力の向上をめざして、「各学年における公開授業」の実践と研究協議を行う。
- キャリア教育の充実
- 世界遺産学習英語ガイド活動の実施 (奈良らしい教育)

(4) 具体的な取り組み

①4人班の活用

朝の会、終わりの会での班活動。及び授業での活用を心がける。

②公開授業

期末テスト1週間前の前日に行う。

③キャリア教育の充実 (ポスターセッションの実施)

クラス発表→学年発表→奈良市ポスターセッション

④世界遺産学習英語ガイド活動について

奈良公園興福寺・東大寺境内をロケーションとして、第1学年の4人班で活動する。観光で奈良に訪れられる海外の方々に、英語で奈良の世界遺産を紹介し、インタビューする取り組みを実施して7年目になる。地域の方々や奈良ガイドクラブ、二名公民館、天理大学国際学部の協力を得て実施している。異文化の方々との英語を使つての交流を通して、地元奈良の良さを再発見し、地域に愛着を抱く生徒の育成をしている。

6 学校の特色ある教育内容

○道徳教育の確立

年間指導計画の充実と実践への方策を立てる。

人権教育、特別支援教育、総合学習、生徒指導、保健衛生、学級活動と連携させ研修を進めるとともに指導を深める。

いわゆるローテーション方式をとり、学年全教員で道徳を行う。

○人権教育の取り組み

人権意識を育て、差別を許さない、差別に立ち向かう生徒の育成を目指す。

- ・ 適切な教材を活用し、3年間を見通した計画的系統的な指導を進める。
- ・ 人権学習の一層の深化、充実を図り、質の高い集団を育てる。

○特別支援教育の取り組み

- ・ 生徒の障害の実態や能力に応じて個別指導を進め、指導法の工夫と開発に努める。
- ・ 学活、道徳をはじめ、生徒の実態等に応じた学習を交流学級で行うなど、諸活動を通じて交流を深める。また、「かかわりの中でお互いに高めあう集団づくり」を進める。

○教育環境の整備（花いっぱい学校づくり）

花づくりをとおして、いたわりの心や物を大切にす豊かな心情を育む教育を推進する。

7 その他

○キャリア教育の取り組み

～「仕事の専門家から生き方を学ぶ」授業から

「キャリア教育ポスターセッション」へ～

今の生徒たちが成人して社会で活躍する頃は、日本は不透明な時代を迎える。そんな社会の中でも、自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方をするための力が求められる。今年度も、第2学年の生徒が、7月に、実際に現場で活躍されている講師の方を迎えて、社会人としての意識や態度を学ぶ取組を計画している。11月に実施する「職場体験学習」を経て、事後学習として「キャリア教育ポスターセッション」を実施する予定である。クラス発表会、学年発表会を実施し、代表者を決定し、その代表者が、奈良市キャリア教育ポスターセッションに参加し、地域の方々の前で発表することを計画している。

「令和元年度のキャリア教育ポスターセッションの様子」

平成28年度より全市展開しているジュニアインターンシップ（探究型職場体験学習）の取組をさらに深めるとともに、ポスター形式の発表による教育効果を普及し、全市の教育力向上を図ることを目的に、奈良市キャリア教育ポスターセッションが奈良市教育センターで開催されました。二名中学校2年生を代表して、1名の生徒が発表者として参加しました。大勢の関係者の中での発表は、緊張したことだと思いますが、立派にやり遂げました。

